

合同教育研究会議（9月11日開催）議事概要

1 開催日時

令和元年9月11日（水）13:00～14:15

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼企画本部長、堀江副学長兼事務局長、高橋教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、伊東国際教育研究部長、武田看護学部長、桐田社会福祉学部長、猪股ソフトウェア情報学部長、吉野総合政策学部長、千葉盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）

（事務局）葛尾事務局次長兼総務室長、岡部教育支援室長、関屋高等教育室長、鎌田学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、藤村企画室長、長崎宮古事務局長、金戸主幹、和山主事

4 会議の概要

議事録確認

前回会議7月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

（1）国際交流協定の締結について（チェコ共和国 フラデツ・クラーロベール大学）（資料No.1）

高橋本部長から資料に基づき、ソフトウェア情報学部・研究科においてチェコ共和国 フラデツ・クラーロベール大学と学部間協定の締結手続を進めることについて説明があり、審議の結果、説明のとおり承認された。

鈴木学長から、締結後は特定の教員のみではなくほかの教員とも一体となって取り組んでほしいとの発言があった。

協議事項

（1）高等教育の修学支援新制度に係る本学の対応について（資料No.2）

鎌田室長から資料に基づき、令和2年4月の「高等教育の修学支援新制度」導入に伴う本学の対応の方向性について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認された。

委員から、制度の適切な運用の観点から、学生の学業成績の適正で公平な評価について全学で取り組まなければならないのではないかとの意見があり、これに対し、高橋本部長から、本制度への大学の裁量がどのくらいとなるかまだ分からないが、学生にとってはGPAの結果が切実なものとなることが予想されるため、公平性について今後総点検するとの回答があった。

また委員から、本制度に対応しながらも、岩手県の進学率向上のために、県に理解を求めながら、また卒業生からの寄附金等の外部資金を得ることも考えながら、大学

独自の支援制度を検討する必要があるのではないかとの意見があった。

報告事項（口頭報告）

- (1) 震災特別推薦入試の廃止について（資料No.3）

高橋本部長から資料に基づき、震災特別推薦入試を令和2年度入試（令和元年度実施）限りで廃止することについて報告があった。
- (2) 令和2年度大学入試センター試験に係る試験監督者の選出について（資料No.4）

高橋本部長から資料に基づき、令和2年度大学入試センター試験に係る試験監督者の選出を各学部へ依頼することについて報告があった。
- (3) 令和元年度夏季インターンシップ in 東北 申込み及びマッチング結果について（資料No.5）

似鳥本部長から資料に基づき、令和元年度夏季インターンシップ in 東北への学生の申込み状況及びマッチング結果について報告があった。
- (4) 低学年向け業界研究セミナー「1-2年生のためのオシゴト展覧会」開催報告について（資料No.6）

似鳥本部長から資料に基づき、7月8日（月）に開催した低学年向け業界研究セミナー「1-2年生のためのオシゴト展覧会」の開催結果について報告があった。
- (5) 令和元年度学業奨励金奨学生の採用について（資料No.7）

似鳥本部長から資料に基づき、令和元年度学業奨励金奨学生の採用者を決定したことについて報告があった。
- (6) 令和2年度科学研究費助成事業公募に係る学内説明会の開催等について（資料No.8）

佐藤室長から資料に基づき、令和2年度科学研究費助成事業公募に係る学内説明会及び勉強会を開催すること並びに公募のスケジュールについて報告があった。
- (7) 国連アカデミック・インパクトの取組に係る推進体制等について（資料No.9）

狩野本部長から資料に基づき、国連アカデミック・インパクトの取組に係る推進体制を整備し、取組を進めることについて報告があった。
委員から、各学部が担う業務や推進に係る予算の想定について質疑があり、これに対し、藤村室長から、詳細は今後決定するが、業務の負担は少なくしたいとの回答があった。
- (8) 令和元年度防災訓練の実施について（資料No.10）

葛尾事務局次長から資料に基づき、滝沢キャンパスにおいて10月9日（水）に防災訓練を実施することについて報告があった。
また藤村室長から、防災訓練の実施に伴い、10月の教育研究会議の開始時刻を15～30分程度繰り下げる予定であり、正式な開始時刻は改めて通知するとの報告があった。
- (9) 第三期中期計画期間における収支ギャップへの対応状況について（資料No.11）

葛尾事務局次長から資料に基づき、第三期中期計画期間における収支ギャップを解

消する手段としての取組の8月までの対応状況について報告があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和元年度秋季入学式及び特別聴講学生入学式について（資料No.12）
- (2) 令和元年度秋季学位記授与式について（資料No.13）
- (3) 令和2年度編入学試験、AO入試及び大学院入試出願状況について（資料No.14）
- (4) 令和元年度前期「English Time」開催結果について（資料No.15）
- (5) 令和2年度サバティカル研修者選考委員会結果について（資料No.16）
- (6) 社会福祉学研究科心理実践演習に係る実習生の受け入れについて（資料No.17）
似鳥本部長から資料に基づき、学生サポートサロンにおいて社会福祉学研究科心理実践演習に係る実習生を受け入れることについて報告があり、受け入れに当たっては、学生サポートサロンで扱う個人情報に十分留意することについて補足があった。
- (7) 令和元年度全学競争研究費の採択結果について（資料No.18）
- (8) KDDI 株式会社との包括的連携協定の締結について（資料No.19）
- (9) 令和元年度戦略的研究プロジェクトステアリングミーティングの開催結果について（資料No.20）
- (10) 令和元年度公開講座・滝沢キャンパス講座の実施結果について（資料No.21）
- (11) 産学連携知的財産アドバイザー派遣事業について（資料No.22）

その他

吉野総合政策学部長から、岩手県立大学総合政策学部・総合政策研究科年報2018年度年次報告を作成したところであり、当該冊子については机上に配布している旨報告があった。

藤村企画室長から、令和元年度計画の取組状況、それらを踏まえた令和2年度の取組の方向に係る学部等の学長ヒアリングを、11月に実施する予定であることについて報告があった。